

秋の全国交通安全運動に参加し、反射材ツールを配布

～京都府、兵庫県警察と連携し、交通安全を呼びかけ～

日本損害保険協会近畿支部(委員長: 柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務取締役)は、9月21日(土)～9月30日(日)までの10日間、「令和6年秋の全国交通安全運動」が実施されるにあたり、京都府および兵庫県での啓発イベントに参加し、交通安全・事故防止を呼びかけました。

9月20日(金)には、京都府の東本願寺前市民緑地お東さん広場(京都市下京区)にて、京都府、京都府警察をはじめとした行政関係者および日頃から交通安全に取り組む団体や民間企業らが参加して同運動のスタート式が盛大に開催されました。また、式典に次いで行われた一般市民向け啓発では、道行く人に声を掛け、反射材ツールの着用推進等を呼びかけました。

9月22日(日)には、デュオこうべ内デュオドーム(神戸市中央区)にて、同運動のセレモニーが開催され、兵庫県立須磨東高等学校の書道部員のみなさんが書道パフォーマンスを披露し、交通ルール順守を呼びかけました。また、パトカー、白バイの展示や反射材を身に着けることで、どのような効果があるのかを体験できるブースも設け、来場者からは「自転車に取り付けます」「高齢の親の靴につけます」「ランニングの時に身に着けます」とたくさんの方に反射材ツールを手にとりいただきました。

近畿支部では、引き続き関係機関とも連携し、地域の交通安全・事故防止に向け、各種啓発活動を進めてまいります。



交通安全宣言を読み上げる様子(京都府)



市民の方に反射材ツールを配布する様子(京都府)



書道部のみなさんが交通安全への願いを込めて描いた作品と記念撮影をする様子(兵庫県)



来場者に反射材ツールの説明する様子(兵庫県)